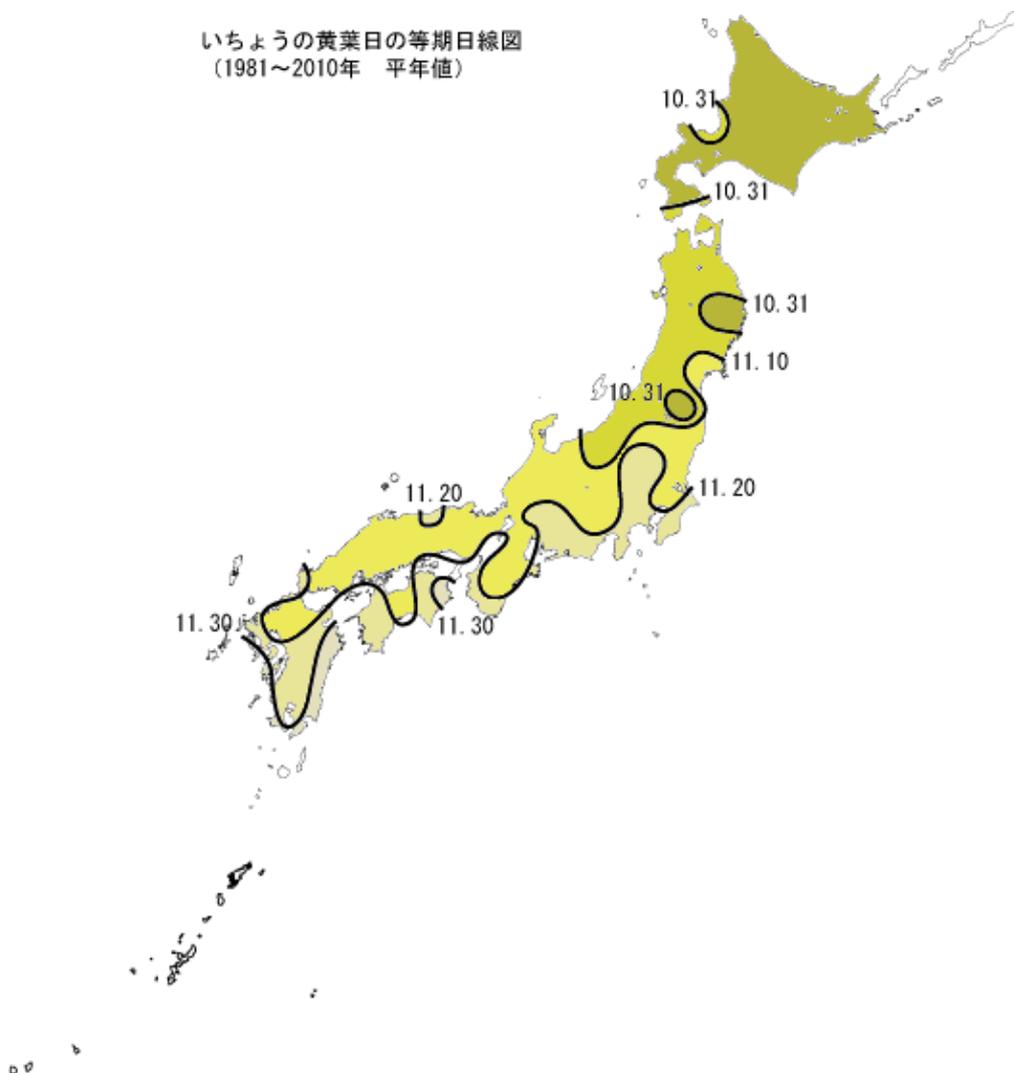


いちょうの黄葉日



いちょうの黄葉日とは、標本木全体を眺めたときに、大部分の葉が黄色に変わった状態になった最初の日をいいます。いちょうは中国が原産地といわれる落葉高木で、社寺の境内や街路に多く植えられ、食用の銀杏が実ることからも良く知られた植物です。いちょうは黄葉の他、発芽日、落葉日を観測しています。

いちょうの黄葉日の等期日線図
(1981～2010年 平年値)



いちょうの黄葉は、10月下旬に北海道地方や東北地方の一部で始まります。11月10日に東北地方や北陸地方北部を結ぶ地域、11月20日には関東地方北部、北陸地方、甲信地方、近畿地方、中国地方、四国地方と九州地方の一部にかけての地域に達し、11月終わりから12月初めにかけて関東地方から東海地方、四国地方にかけての太平洋側、四国地方、九州地方南部に達します。